

議会だより

No.88

令和4年11月
2022.11

のせ

決算常任委員会報告	・ ・ ・ ・ ・	P2
8月会議・9月定例会議報告	・ ・ ・ ・ ・	P5
一般質問	・ ・ ・ ・ ・	P7

令和3年度 能勢町各会計決算を認定

決算常任委員会報告

委員長 平田 要

決算常任委員会に付託された「令和3年度能勢町一般会計歳入歳出決算認定」については、9月16日、20日に委員会を開催し、決算内容を審査しました。

採決の結果、賛成多数で可決すべきものと決定しました。

賛 否

原案可決

井上加奈子	難波希美子	長尾 義和	太田 祐介	岡本ひとし	中西 顕治	中植 昭彦	奥 久明	森田 則子	平田 要
○	×	○	○	○	○	×	×	○	委員長

注:委員長は採決に加わりません。

総務部 (総務課・理財課・住民課)、出納室、議会事務局

問 空き家対策としての個別相談会の相談件数、今後の取組みについて問う。

答 相談は対面でもオンラインでの相談も可能とし令和3年度の相談件数は63件である。情報発信が十分とは言えないため、今後強化していきたい。

問 住民票、印鑑証明の交付が受けられるコンビニ交付の利用実績と、マイナンバーカードの取得率は大阪府が48%、能勢町は44%と低くなっている。カード発行取得に向けた取組みについて問う。

答 令和3年度実績、住民票239件、印鑑証明204件となっている。マイナンバーカード取得については、ポイント付与サービスが12月末申請までに延長され、住民課窓口等で丁寧に説明し普及に努めていく。

問 (株)能勢・豊能まちづくりへの切り替えによる効果について問う。

答 公共施設の移行は約70%行われ、電気代の削減額は基本料金5%の割引があり300万円程度の効果額が出ている。

問 ふるさと応援寄付金事業の決算額は増えているが、能勢町から他自治体への寄付金の出の状況について問う。また、寄付金の増加の要因と能勢町ならではの返礼品について問う。

答 他の自治体への出のふるさと納税寄付金額については630万円程度と把握している。コロナ禍による巣もり効果や、返礼品51品目から98品目に増えたことが要因と考える。能勢町ならではのモノ消費に対し、コト消費として新たにアスレチックや農業体験、ドッグランの返礼品が増えている。

問 地域おこし協力隊の活動内容と、今後の隊員の受け入れについて問う。

答 令和3年度の2名の隊員は、能勢なつかしき協議会と連携して「里山技塾」の企画運営の支援と、(株)能勢・豊能まちづくりと連携し再生可能エネルギーを軸としたまちづくりに向け取り組んでいる。令和4年度の1名は豊中高校能勢分校と連携し「里山留学制度」の定着に向け取り組んでいる。令和5年度についても1名の受け入れを計画していきたい。

総務課：新庁舎移転事業、公共施設再編整備事業、公共交通対策事業、公用自動車一括管理事業、IT政策推進、広報「のせ」発行、職員研修事業、人権と平和のつどい等

理財課：決算不用額、不納欠損、実質単年度収支、町民税（法人）、固定資産税、たばこ税、町税の歳入減、地方交付税、財政収支見直し等

住民課：コミュニティー助成事業、戸籍業務電算化、新型コロナウイルス感染症にかかる住民税非課税世帯等臨時特別給付金事業、地方創生新型コロナウイルス対策交付金、非常備消防団活動、常備消防事業、ひとり親家庭医療費助成等

福祉部 (福祉課・健康づくり課)

問 新型コロナウイルス感染症対策ではフェーズが変わる中での対応となり、支援の内容も変わってきている。これらの対応と課題について問う。

答 新型コロナウイルスにはワクチン接種が重要であるとして速やかに接種できる体制作りを進めてきた。引き続き感染予防に努めていく。課題としては、ワクチンの確保や国からの情報の発出等をスムーズに行いたい。

問 放課後児童クラブのクラス数と定員の検討状況。また、東地域にできる福祉施設での放課後児童クラブ開設の考えについて問う。

答 現在の定員は70名、2クラスにするには別に施設が必要となるとともに指導員・補助員も増やすことになり実施していない。以前に東地域に放課後児童クラブを設置すると検討したが、それぞれで指導員・補助員の配置が必要となり実施しないとされた。

問 高齢者クラブの活動状況と活動補助金の内容について問う。

答 21団体に対して活動支援を行った。清掃活動や地域の見守り活動、いきいき百歳体操の消毒液等に活動補助金が活用されている。

問 家庭教育支援事業「ほっこり」の家庭訪問による成果と今後の活動について問う。

答 学期毎に家庭訪問をしている。コロナ禍で外出できないところ訪問を受け喜んでいただき、支援員との信頼関係も深まっている。引続き状況を見据えながら家庭等の訪問、学校訪問に努める。

福祉課：子育てつながり支援事業、子どもの居場所づくり事業、子育て応援ナビ、子育て世帯生活支援特別給付金給付事業、民生児童委員会事業、保育所施設整備事業等
健康づくり課：妊婦健康診査費助成、新型コロナウイルスワクチン接種事業等

産業建設部 (地域振興課・地域整備課)

問 新型コロナウイルス感染症対策商品券交付事業にかかる「いきいき商品券」が、どの様に使われたかデータ分析について問う。

答 個人事業所に比べ量販店で多く、物産センター、医療機関、公共交通機関で使用があった。今年度も商品券交付を行っているが、事業所を増やし額面に工夫を加えている。

問 令和3年度のシカ・イノシシの捕獲頭数と令和元年度からの推移、また捕獲頭数を増やし被害を抑えるため次年度に向けた対策について問う。

答 令和3年度シカ913頭、イノシシ93頭となっている。シカについては平成30年度から増加傾向にあり、イノシシについては豚熱により減少傾向にある。次年度に向け猟友会と協議しながら個体処理施設の設置等の検討を進めているところである。

問 高齢化に伴い小さなゴミ袋(20ℓ)の適用や、高齢者宅への各戸収集の在り方などの検討について問う。

答 第3次能勢町廃棄物ごみ減量化計画の中で、今後取り組む事業として掲げている。ゴミ処理券制度の見直しは環境対策検討委員会で意見を聞き、検討を進めて行く予定である。

問 観光案内所(観光物産センター内)の案内件数とコロナ禍の影響、また今後の対応について問う。

答 案内件数は令和2年度6,912件、令和3年度6,431件で緊急事態宣言時は閉鎖していたため件数は伸びていない。ふるさと応援寄付金担当課や文化担当課とも連携し町の魅力発信に努めたい。

地域振興課：産業立地促進事業、火葬業務、地域再生可能エネルギー導入促進事業、能勢栗振興事業、耕作推進支援事業、多面的機能支払交付金事業、観光物産センター運営、観光振興事業、資源集団回収事業、新型コロナウイルス感染症対策環境整備支援事業、農業資材購入支援事業、農業委員会、認定農業者、家畜伝染予防法に関する防疫訓練、豊能郡環境施設組合等
地域整備課：浄化槽設置整備事業、し尿収集事業、排水処理計画事業、町営住宅改修事業、道路使用料、ブロック塀等撤去補助、通学路の安全対策、土砂対策事業等

教育委員会 (学校教育総務課・生涯学習課)

問 学校給食費無償化は新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金で行われているが、引続き次年度も実施されたい。考えを問う。

答 学校給食費無償化については慎重に協議をしていくべきと考えている。現行の給食費無償化は今年度限りで、令和5年度からは法律の規定に基づいて保護者負担を前提に考えていくことになるかと現時点では考えている。

問 浄瑠璃は本町の文化財で、広く認知され貴重な観光資源である。今後の取組みについて考えを問う。

答 浄瑠璃は能勢の資源と考える。観光とリンクさせながら能勢町をPRしていくことが重要であると考え取り組んでいく。

次ページにつづく

問 図書室運営で、コロナ禍の影響による利用者の推移について問う。また、東地域に本の返却や予約本の受け取り窓口を設置することについて、考えを問う。

答 令和3年度においてはコロナ禍前の水準に戻ってきている。基本は図書室に来て目的の本以外にも触れて借りていただくことと考えるが、返却に関しての窓口については前向きに議論し考えたい。

問 高原マラソンに変わる能勢クロスカントリーがコロナ禍の影響で中止になっている。次年度はコロナ禍に対応する事業を考えているのか問う。

答 自然災害とコロナ禍の影響を受け数年開催されていない高原マラソンについては発展的に解消とした。それに代わるクロスカントリーの試走開催予定であったがコロナ禍で中止した。令和4年度は再開したいと考えている。

学校教育総務課：英語教育推進事業、学力向上支援事業、外国人教師招致事業、学校施設管理事業、ICT教育環境整備事業、児童就学援助費、学力向上支援事業、職場体験事業、通学の安全対応、奨学基金等
生涯学習課：生涯学習講座事業、児童館推進事業、成人式、浄るりシアター自主事業、浄るりシアター施設整備事業、B&G海洋センター・名月ランド運営管理、文化保存事業、文化財説明版整備保守事業、子ども会育成会等

◇令和3年度能勢町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

9月26日に委員会を開催し、決算内容を審査しました。

国民健康保険加入者への新型コロナウイルス感染症に対する健康増進給付金、令和6年度からの広域化、保険税から保険料の変更点等についての質疑の後、討論は無く採決の結果、賛成多数で可決すべきものと決定しました。

続いて、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計、国民健康保険診療所特別会計、農業集落排水事業特別会計、下水道事業特別会計、水道事業会計について令和3年度の決算内容を審議し、それぞれ質疑の後、採決の結果、賛成多数で認定すべきものと決定しました。

予算常任委員会報告

9月15日 開催

委員長 平田 要

予算常任委員会に付託された「令和4年度能勢町一般会計補正予算(第5号)」について、委員会を開催し予算内容を審議しました。

「令和4年度能勢町一般会計補正予算(第5号)」は討論はなく、採決の結果、賛成多数で可決すべきものと決定しました。主な質疑応答は、次のとおりです。

問 新型コロナウイルス感染症の自宅療養への支援事業として、4月の補正で50万円が計上されていたが今回100万円の補正である。経緯を問う。

答 4月補正予算で新型コロナウイルス感染症の自宅待機者の緊急支援として、食料支援費50万円の100人分を想定していたが、7月からの感染拡大があり100万円の200人分の支援を想定し予算計上するものである。7月末で68人、8月には120人の支援を行っている。

問 のせ保育所の施設整備事業費238万円について説明を求める。

答 衛生面の向上を図るため、紙おむつを真空パックで処理する器具の購入を行うものである。及び、給食調理室の三層シンクが水漏れを起こしており、交換するものである。

問 新型コロナウイルスワクチン接種に係る委託料について、それぞれの内容を問う。

答 4件の委託料として、1点目、町内医療機関で4回目新型コロナウイルスワクチン接種を追加で行う委託料。2点目、集団接種会場への運転業務委託料。3点目、予診票等の電算改修費用。4点目、ワクチン接種のコールセンターでの予約及び集団接種会場の設営・運営にかかる委託料として計上している。

問 森林環境学習標識設置について問う。

答 都市部と里山としての能勢町との交流を図る事業として、登山道等に、能勢の自然や生物多様性等を説明する標識10ヶ所程度を設置するものである。

続いて、予算常任委員会に付託された「令和4年度能勢町国民健康保険診療所特別会計補正予算(第2号)」、「令和4年度能勢町下水道事業特別会計補正予算(第2号)」の内容を審議し、質疑、討論はなく、採決の結果、賛成多数で可決すべきものと決定しました。(採決の結果は本会議ページ参照)

令和4年能勢町議会8月会議報告

8月10日開催

8月会議には、契約案件2件が提出され、全員賛成により可決されました。

◇動産の買入れについて(第36号)

買入れ動産	軽量ノート型端末
買入れ金額	12,384,350円(消費税込)
買入れ先	NECネットエスアイ株式会社 関西支社

◇動産の買入れについて(第37号)

買入れ動産	高規格救急自動車
買入れ金額	31,900,000円(消費税込)
買入れ先	大阪トヨペット株式会社 法人事業部

令和4年能勢町議会9月定例会議報告

9月12・13・14・27日 開催

9月定例会議には、報告1件、条例3件、補正予算5件、決算8件、契約案件2件、その他2件の合計21件が提出されました。賛否の分かれた案件は1件で、その他の案件は賛成多数で可決・認定されました。すべての提出案件については、能勢町ホームページ「能勢町議会」からご覧いただけます。

◇職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について

育児休業の取得回数制限の緩和を目的に関係法令が改正され、非常勤職員についても、所要の改正を行うもの。

◇能勢町過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の適用に伴う固定資産税の課税免除に関する条例の制定について

過疎地域の指定を受けたことにより、一定要件を満たす固定資産税について3年間に限り課税を免除できるよう制定するもの。

◇能勢町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例について

大阪府の後期高齢者医療連合会、後期高齢者医療に関する条例の一部変更により所要の改正を行うもの。

◇令和4年度能勢町一般会計補正予算(第5号)

補正額 1億7,979万円

(主なもの)	・財政調整基金積立金	1億2,900万円
	・戸籍電算化	753万円
	・新型コロナウイルス感染症自宅療養者緊急支援事業	100万円
	・保育対策総合支援事業	80万円
	・新型コロナウイルスワクチン接種事業	3,281万円
	・保育施設整備事業	238万円
	・土地改良施設整備事業	120万円

◇令和4年度能勢町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

補正額 296万円

(主なもの)	・特定健康診査による返納金	180万円
--------	---------------	-------

◇令和4年度能勢町介護保険特別会計補正予算(第2号)

補正額 1,601万円

(主なもの)	・過年度精算による返納金	1,517万円
--------	--------------	---------

◇令和3年度能勢町一般会計歳入歳出決算認定(第1号)

賛 否		原案可決								
平田 要	井上加奈子	難波希美子	長尾 義和	大西 則宏	太田 祐介	岡本ひとし	中西 顕治	中植 昭彦	奥 久明	森田 則子
○	○	×	○	○	○	○	○	×	×	○

注:議長は採決に加わりません。

【反対討論】 難波 希美子

令和3年度の施策は、住民の福祉に寄与したのか。それは持続させていけるのか。そのことを問うているかと考える。全体にみて大きな過失はなかったが、私の目標とする住民主役と環境保全の能勢町には少し遠く思える。社会情勢の厳しい中、職員の方の仕事も大変だと思う。しかし、この決算に賛成することは、この程度で良しと認める事である。執行機関を私なりにチェックをし、意見をいい、提案をしていく隙間が見える。よって、今回の決算に反対する。

【賛成討論】 井上 加奈子

予算の適正・効果的な執行を審議し、概ね成果を確認した。また、既存施設の解体費用に一定の財源を見込んだ上で、中長期財政収支見通しは若干改善している。但し課題を残す事業もあり、以下を強く指摘した。

- ・登校できない子どもの学びの保障のため、オンライン授業実施が必要である。
 - ・ふれあいプラザの「保育所送迎サービス」開設に向け調査を進め、用途転向も含め議論が必要である。
 - ・空家対策と移住支援について、積極的な姿勢を見せるべきである。
- 多くの質疑・意見を真摯に受け止め、次の予算編成に前向きな検討を要望し、賛成する。

【反対討論】 奥 久明

本決算での経常収支比率は92.3%だが今回は地域デジタル社会推進費等、一時的な歳入増加で、財政収支見通しでは今後100%に近い数値で推移し依然厳しい財政状況である。今後の町税は人口減少と高齢化、新型コロナウイルス感染症や円高による物価高騰で家計を直撃し大幅な減収が予想される。今後、地方交付税も安定して交付される保証もない。

上記対応のため先を見越した歳入確保策が必要と思うがその対応をなしたとは言い難い。また単年度収支も約1億4200万円と金額も大きく、住民サービスに十分寄与できたのか疑問であり本決算認定に反対する。

【反対討論】 中植 昭彦

約3億2千万円の黒字を出しているが、町税は大幅な減少となった。地方交付税の追加や事業中止等によるものである。住民や事業者の厳しい実態の中、暮らしを守る施策は十分であったのか。公債費の増加等によって再び4年度には経常収支比率は100%を超え、財政も厳しい状況が続く。その上、財務省報告は地方財政計画の見直しも示唆している。

既存事業の再構築も計画されるまでになった。住民サービスを低下させない決算結果とは言えず反対する。

◇令和3年度能勢町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

◇令和3年度能勢町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

◇令和3年度能勢町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について

◇令和3年度能勢町国民健康保険診療所特別会計歳入歳出決算認定について

◇令和3年度能勢町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について

◇令和3年度能勢町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について

◇令和3年度能勢町水道事業会計歳入歳出決算認定について

◇能勢町過疎地域持続的発展計画の策定について

令和4年4月1日の過疎地域の公示により、大阪府の発展方針に基づき本町の発展計画を策定するもの。

◇能勢町立東部デイサービスセンター指定管理者の指定について

アースサポート株式会社(令和5年4月1日から令和10年3月31日まで)

◇動産の買入れについて(第48号)

買入れ動産	旧歌垣小学校再編整備什器物品購入
買入れ金額	16,390,000円(消費税込)
買入れ先	株式会社 あづま商事

◇動産の買入れについて(第49号)

買入れ動産	ふれあいプラザ診療所レントゲン装置
買入れ金額	9,350,000円(消費税込)
買入れ先	株式会社 ケーエスケー 豊中支店

一

般

質

問



町民のみなさんの生活を、より良いものにするため、町に対して質問を行いました。主な内容をお知らせいたします。

P7 ……長尾 義和

P8 ……平田 要、井上加奈子

P9 ……森田 則子、中西 顕治

P10……中植 昭彦、難波希美子

一 般 質 問



長尾 義和

豊能郡環境施設組合の 解散に向けて

能勢町、豊能町で設置

する豊能郡環境施設組合再編整備計画を踏まえ、ダイオキシン類を含む廃棄物の最終処分について、豊能町の旧双葉保育所園庭に遮断型処分場を設置する方向で進められていた。

しかし、豊能町において、最終処分地を含む区域を公共施設再編整備として計画されたため、当分の間、処理、処分が遅延することを8月24日の組合議会で管理者の豊能町長から示された。

また、組合解散についても両町で今年度中に協議を進めていくことも言及された。

問 豊能町の公共施設

再編整備計画を踏まえ、組合解散を示されたが、町長の考えを問う。

答 解散には若干時間を要するが、協議については、年内に行っていく。

答 今後、処理が進まないことになると、施設組合の経費についても、両町の税金であるので、一定そういう判断もした。

問 解散に向けての協議内容は、廃棄物の最終処分、美化センター周辺の安全化対策、財産処分などである。

問 これまで解散に向けて、両町で協議したことはあるか。

答 豊能町とまず協議をした上で、借地の問題等もあるため、地元と話をしなければならぬと思っている。

答 組合議会の開催が先日であり、両町長間では具体の話はしていない。今後、課題を整理していかねばならない。

問 事業が進まない状況において、すぐにも組合を縮小していく協議ができないか。

問 豊能町長の任期も来年3月である。早い調整が必要ではないか。

答 縮小ということは十分考えなければならぬ。



平田 要

持続可能な農業の発展 に向けて

問 有害鳥獣対策に係るシカ・イノシシの捕獲活動の負担軽減を図るための、個体の処分施設設置の検討状況と計画時期について問う。

答 猟友会による捕獲活動に対する負担も増加していると認識している。捕獲後の個体処分については、先進地視察等を重ね、本町の実情に応じた具体的な処分施設の在り方について検討を進めている。できるだけ早い時期にと考えている。

問 鳥獣被害防止対策の担い手となる人材の育成支援と地域ぐるみの活動を支援する対策強化について問う。

答 狩猟免許取得補助や侵入防止柵設置補助等の支援を行ってきている。引き続き

き猟友会や地域の方々から意見とニーズを伺い、今後の政策に反映したいと考えている。

耕作放棄地は平成27年度で52 haあり、山間部近くの農地についても今後どう利用していくか検討する必要があると考えている。



問 農業や土地利用のあり方から、農業公社の設立に向けた検討状況について問う。

答 農業者の高齢化や担い手不足という状況から、耕作放棄地への対策が必要であり、本町として継続的に農地の適切な保全管理のできる組織の設立を目指している。ただ今は準備をしているところで、令和6・7年あたりに目途をつけたいと考えている。

問 耕作放棄地の、保全管理の行政指導と農地復元をめざす支援策について問う。

答 農業委員会が農地パトロールを実施し、保全管理ができていないところについて所有者に利用の意向調査による指導を行っていている。

一般質問



井上 加奈子

一、公園の計画 二、移住促進施策 三、国葬と学校

公園の計画について

問 庁舎跡地等活用基本計画策定事業の進捗よく状況を問う。

答 今年度中の基本計画策定に向けた業務（コンサルティング）発注を行い、関係課で構成する検討会議を立ち上げ、検討を進めている。

問 この機会に、子どもを主体として意見を聞いてみるのはいかがでしょうか。

答 現時点では庁舎周辺跡地全体をどう活用するかという計画だが、具体的に公園をつくるということになれば、保護者と子どもたちにどんな公園が求められているかニーズ調査をしなければならぬと考えている。

移住促進施策について

問 能勢町が選ばれる理由は何かと考えているかを問う。

答 人それぞれ様々な要因があると考えている。

問 ターゲット設定をしているか問う。

答 先の理由を踏まえ、地域企業への就業や起業支援、子育て環境や農のある暮らしの提供等に取り組んでいきたい。

問 全国規模の移住支援団体に加盟すると、イベント開催や情報発信ができるが、加盟していない理由を問う。

答 特に理由はないが、移住を考える際の候補地になるきっかけの必要性を考慮し、そのような動きに改めていきたい。

国葬と学校について

問 9月に行われる国葬の際、行政機関と教育現場ではどのような対応をするか。

答 行政は対応しない。教育委員会も学校に対して弔意の表明を求めない。学校も何もしないとは認識している。





森田 則子

一、子育て世代に寄り添う、細やかな支援を
二、男性用個室トイレに、サニタリーボックス設置で快適に

寄り添う子育て支援

問 グリーフケア(流産や死産などの周産期の死を含む、子どもを亡くした家族への行政支援)の産後ケア事業を活用した取組みを問う。

答 母子手帳交付の件数は、昨年30件で、その中で実態を把握するのは難しいが、必要な支援に取り組む。

問 実態把握の体制づくりと共に、家族への配慮や支援については、行政手続の共有や、グリーフケアに特化した相談窓口を設けてはどうか。

答 先進的な自治体を参考にし、府の相談窓口を案内するなど、必要な支援については繋げていきたい。

保育所での紙おむつの廃棄処分について、要望してきたが経過を問う。

答 8月1日から保育所で一括処分を行っている。処分方法については機材を導入し、今議会に補正予算を計上した。

問 前立腺がんなどの治療や手術を受けた男性のために尿漏れパット廃棄用に、公共施設の男性トイレにサニタリーボックスを設置してかどが。



答 本町は、高齢化が42%を超えているので高齢者のオムツということも大きな課題である。一日も早い解決のために設置が一番効果的であると考え、早い時期に設置したい。



サニタリーボックス

一般質問



中西 顕治

一、地域公共交通の実証試験
二、新型コロナウイルス感染症対応

乗合タクシーについて

問 利用状況について。

答 7月からの2か月間で運行回数56回、延べ74人が利用。交通モードが地域に浸透するまでに時間がかかると考えられ、利用枠に余裕のある状況である。



問 2コースの区分をなくせば利用回数が増えると考えられるか。

答 週を通して利用したいという意見もあるが、まだ2か月の実験期間であり、たちまち曜日を変更することとは考えていない。

目的停留所増設の提案

問 があるが、バス路線上の目的地も認めるべきではないか。

答 導入の前段階でそういう議論もしている。基本的に公共施設は認めるが、バス路線が走っていない時間帯という区分もしている。指摘の点については難しいと考える。



「コロナ感染症」について

問 役場内の部署が感染源とならないように検査、隔離を提案していたが現状はどうか。

答 窓口業務および、保育所、児童クラブの職員には症状がなくても簡易検査キットで検査を行っている。検査の結果、陽性が判

は。

問 府が新型コロナウイルス感染症の後遺症についてリーフレットを作成している。本町でも保健センター

答 府が新型コロナウイルス感染症の後遺症についてリーフレットを作成している。本町でも保健センター

窓口に設置し、町ホームページにも府ホームページへのリンク先を掲載するほか、日々の電話相談等でも対応を行っている。



中植 昭彦

住民の安心・安全の暮らしのために地域防災計画の運用と消防団再編は

問 近年は台風やゲリラ豪雨による水害が発生している。また東南海、南海地震や、直下型地震、大規模災害による大きな被害が懸念され防災対策の一層の充実強化が必要である。計画の修正、改善は。

答 災害対策基本法に基づき、必要があると認めるときは修正し、効果的な計画の整備を図り、適宜見直しを行っている。

問 消防団は、住民の安心安全の暮らしを守るため献身的に活動している。現在人口減少、高齢化によって団員の確保が困難になっている。しかしながら常備消防と連携した

答 町長として答える。例として250人としたが、消防団の中で決定していただけはよい。不足する部分は町が補う。どういう形で補っていくかは、消防団

火災対応や激甚化する災害対応など消防防災の要としての役割も変わらざるを得ないが、消防防災力の維持が必要である。任務は変わらざる員数を減らすことによって更なる負担増も懸念される。再編を円滑に進めるため防災計画策定の主体である町の責任において、消防防災力を低下させない補完策を講じることが必要と考えるがどうか。

地域と相談しながら決定していく。
*地域防災計画は、災害予防、災害応急対策及び災害復旧などに関し、行政機関や関連団体等の処理すべき事務または業務の大綱を定め、災害から地域住民の生命、身体及び財産を保護するため、防災行政の効果的な実施を図ることを目的としている。

町長として答える。例として250人としたが、消防団の中で決定していただけはよい。不足する部分は町が補う。どういう形で補っていくかは、消防団



一般質問



難波 希美子

一、住民目線のまちづくり 二、太陽光発電条例 三、パートナーシップ制度ファミリーシップ制度

問 住民の声をどの様にして聞き、政策に反映させているのかを問う。

答 説明会やワークショップ、ご意見箱、タウンミーティングなどを開催している。

問 ご意見箱の回答が、一か月かかったりしている事もある。その間、個別対応しているのか。

答 個別対応はしていないが、回答までの調査等があり遅くなっている。



問 太陽光発電条例の目的を問う。

答 太陽光発電設備の普及と規制である。

問 町内の20kW以上の発電設備の半分以上が町外の業者だが、景観や環境の悪化や災害時の被害を被るのは住民である。環境基本条例や防災計画は機能しているのか問う。

答 条例や計画は事業者に伝えていないが、対策は承認されているとの認識である。



問 この2つの制度の検討結果を問う。

答 多様性の理解を求める事は重要で、国において統一的に取り組む課題との認識である。府の制度があるので町としてはそれに準じていく。

問 今、町営住宅入居に支障があるのではないかと、相談があれば柔軟に対応し、今後も国にも働きかけていく。

答 相談があれば柔軟に対応し、今後も国にも働きかけていく。



総務民生常任委員会報告

移住と定住について

委員長 岡本 ひとし

7月12日開催 委員会

アンケート調査に係る進め方と整理について調査する。

8月1日開催 作業部会

アンケート調査に係る交通問題、インフラ、転入時の費用等の議論。

8月23日開催 作業部会

アンケート調査に係る「能勢を選んだ理由」について調査。

4つのキーワードにしぼり、内容等の確認及び中間報告に向けた整理を行う。

環境教育常任委員会報告

高度産業化農業の視察

委員長 奥 久明

視察日:7月5日

視察先:兵庫ネクストファーム(兵庫県加西市)

視察先は、「次世代施設園芸導入加速支援事業」の一環として大規模施設農業ハウスを営んでおり、AIなどを駆使してオランダの最先端技術を使用したトマトの溶液栽培をされている事業所でした。

行政との関係については、建設時には国・兵庫県、加西市からの補助なども受け、水道代や固定資産税についても加西市から補助も受けつつ運営されていました。また動力源の一部としてはボイラー使用時に、近隣の多可町から木質チップを取り寄せ木質バイオマスを使用してエネルギーを確保されており、次世代型の農業を視察させて頂きました。

今回の視察した経験を活かし、委員会で調査・研究を深め、本町のまちづくりに活用できるよう進めてまいります。

議会改革特別委員会報告

7月19日開催

委員長 平田 要

第7回 議会改革特別委員会を、各作業部会からの報告をもとに開催しました。

第1作業部会：「議員定数の取扱い」の考え方で年内に方向性を出していきたいと考えているが、現在の議論の中ではそれぞれの意見や根拠のある意見が出されており、部会として全会一致を見るのは事象の性格から難しいとの報告があり、引き続き方向性に向け調査する。

第2作業部会：議員間討議、住民公聴会の具体的な方策の調査研究を進め、進ちよくがあれば報告する。

第3作業部会：議会のICT化に向けてのタブレット端末導入については、引き続き調査研究、先進地事例の視察等を重ねていきたい。また、グループウェア導入に向けて、次年度以降に予算化に向け取り組んでいくことを確認した。

本誌「議会だより」の表紙を飾る写真を募集しています。

テーマ：能勢町における「生物多様性」
発行時期：5月、8月、11月、2月

能勢町が長い年月で育ててきた豊かな生物多様性を、様々な形で発信したいと企画いたしました。

ご応募、ご質問は随時議会事務局までご連絡ください。

☆表紙の写真☆

町内を彩る紅葉も、様々な表情を見せながら落葉し、厳しい冬の到来を告げます。

おしらせ

12月定例会議は、12月12日(月)
が開始日となります。

詳細な日程は、決定次第ホームページなどでお知らせいたします。

能勢町議会 YouTube チャンネル

議会の音声データを聴くことができます。
音声の内容は公式記録ではありません。



編集後記

今年は暑い日が続きましたが、ようやく秋が深まり冬支度の時期となりました。
稲刈りが始まるころ、議会では令和3年度の決算審査が行われていました。多くの質疑があり、その一部ではありますが、審議内容を掲載しました。

政治と暮らしはつながっています。議会だよりに記されていることを、町のことや自分のことを考えるきっかけのひとつにしていただけると幸いです。

広報特別委員会

委員長 太田 祐介
副委員長 難波希美子
委員 井上加奈子 岡本 ひとし 奥 久明

発行／能勢町議会 発行責任者／西河 巧 編集／広報特別委員会 発行日／令和4年11月1日
〒563-0392 大阪府豊能郡能勢町宿野28番地
TEL(072)734-0151 FAX(072)734-2460
ホームページアドレス <http://www.town.nose.osaka.jp>

能勢町議会

